

答 条例を定め、具体的なアクションプランとして産業振興計画を定めることによって、支援策を実効あるものにして考えています。

問 中小企業の生産性等の向上策について。

答 中小企業診断士を活用した相談業務の充実を図り、事業計画や経営改善計画策定のサポート体制を充実し、雇用の開発や雇用支援も行っていきたいと考えています。



補正予算

議案第 18 号 平成 28 年度加西市一般会計補正予算 (第 4 号) について

総務
建設

【歳入】

- ・法人市民税 (△ 4,500 万円)
- ・地方消費税交付金 (△ 7,200 万円)
- ・基金費寄附金 [ふるさと寄附金 (ふるさと納税)] (2億 4,000 万円)

【歳出】

- ・一般管理費 [ふるさと納税特産品費及び包括業務委託料] (1 億 1,800 万円)
- ・保健衛生総務費 [病院事業会計補助金] (3 億円)

問 地方消費税及び法人市民税の減収について。

答 地方消費税の減額は、円高による原油価格の変動に伴う、輸入取引にかかる貨物割の減によるものであり、法人市民税の減額は、急激に進んだ円高によって法人収入が伸び悩んだことと、法人税割が 14.7%から 12.1%に引き下げられたことが影響したものと分析しています。

問 ふるさと納税の包括業務委託の現状分析について。

答 寄附額が、導入前の 3,000 万円程度から、平成 27 年度は約 2 億円、平成 28 年度は 5 億円を超えており、この額は職員だけでこなせる業務量ではなく、寄附額の半分がお礼の品と委託料にかかることを差し引いても、委託の活用は必須と考えています。



問 ふるさと納税の返礼品の開発について。

答 今後は、物品だけではなく、体験型の返礼品として、貸し農園、稲刈り、ゴルフ利用券、宿泊券なども組み入れながら、ふるさと納税者のニーズに応えていきたいと考えています。

議案第 24 号 平成 28 年度加西市病院事業会計補正予算 (第 1 号) について

建設

患者数の減少により収益を減額するもの及び収益減に伴う経営支援のための一般会計繰入金を増額するもの。

問 医師不足が原因で、追加の繰り入れが必要となったということだが、医師が確保できれば十分な数の患者を受け入れることができ、経営も安定するのか。

答 医師不足により入院患者や救急患者の受け入れを制限したため、医師を確保することで、入院患者や外来患者の増加が見込まれ収益がふえると考えます。また、加西病院で手術や入院をしてもらうための住民への啓発や診療所との連携などにより患者数をふやすことも大事だと考えています。



問 3 億円の追加補正によって病院が従来から要望していた金額である 12 億円の繰り入れとなるが、当初から繰り入れることはできなかったのか。

答 財政としては、国の通達で示されている公営企業会計への繰出金の算出方法によって計算していますが、それにより算出された金額全額を繰り出すのではなく、一定の歳出に対しては、病院側でも歳入があるので、それを差し引いた分を一般会計から繰り出すことにしています。

病院としては、国や県は繰り出しの中での留保資金で運用するというのが基本的な考え方であり、そうなれば非常に運用しやすいと考えます。また、近隣の病院では決算状況を見ながら追加助成というところもあり、少し余裕がある中で運用したいという思いはありますが、まずは病院として努力していく必要があると考えています。



討論【賛成】 病院自身の自助努力をお願いし、しっかりと運営していただきたい。